

片塩商店街

(片塩振興協議会)

奈良県大和高田市

！取組のポイント

片塩振興協議会、片塩まちづくり株式会社が両輪となって、「お年寄りに優しく、元気になる商店街」づくりを推進。

取組の背景

「お年寄りに優しく、元気になる商店街」を目指して

2010年に、これまで協働関係にあった大型店が撤退し、通行量の減少、商店街の空き店舗の増加が起こった。

そこで、2013年2月に片塩商店街のビジョンに関する来街者アンケート調査として、地域コミュニティニーズアンケートを実施（国の補助事業活用）。現状分析、課題の抽出を行った。また、商店街の方向性を考えるために、全国の成功事例とされている商店街を足繁く訪問した。

このようにマーケティング調査と視察を行い、商店街の置かれている状況とその打開策について検討を行った結果、活動の方向性を「お年寄りに優しく、元気になる商店街」と定め、その実現を目指し、空き店舗へのテナント誘致やイベントの実施を行うこととした。

取組の内容

ソフトとハードの面から高齢者を支援

「お年寄りに優しく、元気になる商店街」の実現にあたっては、ソフト面の事業だけではなく、増えつつあった空き店舗対策が重要であった。そこで、商店街の土地所有者の出資により、ハード面の活動の受け皿となる片塩まちづくり株式会社を設立した。

片塩まちづくり株式会社の設立により、商店街の土地所有者の協力を得られる体制が構築されたことで、これまでオーナーと出店希望者に任されていた出店交渉の仲介が可能になった。その結果、2013年2月に大型店撤退跡地へ大型スーパーが出店した効果と相まって、20店舗以上あった空き店舗が半減するなど、円滑な出店に結びついている。

また、高齢化率が高まる中、高齢者の来街に配慮した新たな事業も展開している。

具体的には、老化による体力の衰えを予防することを考え、地域の高齢者に健康維持や交流の場を提供する施設「片塩わかがえりーな」を国の補助事業を活用して2014年4月に開設。太極拳やヨガ、気功など、9種のスポーツ教室や、囲碁、筆ペン習字、切り絵など6種の文化教室には多くの利用者が集まり交流を深めている。

さらに、来街する高齢者が休めるよう、ベンチを多く設置し、四季の花を楽しめるミニ公園を作ったほか、防犯カメラの増設、街路灯のLED化、防犯関連情報放送設備の設置、アーケードの改修を行い、安心・安全で快適な商店街づくりを進めている。

「片塩わかがえりーな」



取組の成果

多様な人材が関与し課題解決に貢献

片塩振興協議会と片塩まちづくり株式会社が両輪となって実施しているソフト面とハード面の活動は、大きな効果を発揮している。

また、新設の「片塩わかがえりーな」については、2014年4月のオープン以降、周知が進むにつれ、利用が増えてきていることから、ニーズを的確に捉えられていることが分かる。

さらに多くの人の利用に結びつけられるように、高齢者が利用しやすい娯楽(囲碁、将棋など)などを実施する教室の開催も検討している。

また高齢性認知症は、適度な運動で防ぐ事もできることから、その運動指導員を養成する予定もある。

そして、春と秋に開催している「おかげ祭り」や、年3回の「片塩寄席」、3月の「ちゃんこ鍋の会」や、7月の「七夕祭り」など、恒例のソフト事業も以前より多くの参加者が集いにぎわいを見せている。

「片塩わかがえりーな」における体操教室の様子



実施体制

片塩振興協議会はソフト事業の実施を担い、片塩まちづくり株式会社は空き店舗対策の部分を担当することで、ソフトとハードの作業を分担している。

片塩まちづくり株式会社は、その出資者が商店街の土地所有者であることから、空き店舗のオーナーと出店希望者との間に入って交渉を行っている。同じ不動産オーナーという立場であることから、空き店舗オーナーとも話をしやすいため、出店交渉が円滑に進む原動力となっている。

基本データ

所在地	奈良県大和高田市片塩町
人口	約7万人(大和高田市)
電話/FAX	0745-52-4189/0745-52-2382
関連URL	http://katashio.eemachi.com
会員数	85名
店舗数	85店舗(買回り品小売店14、最寄品小売店8、飲食店18、サービス店21、その他24)
商店街の類型	近隣型商店街
主な客層	主婦、学生・若者、観光客(国内)

キーパーソンからのコメント

左：片塩振興協議会 会長
布川 清澄
右：片塩まちづくり株式会社
代表取締役 酒本 昌彦



ショッピングセンターとは違う価値の創出

近くにある大型ショッピングセンターにはいくら努力しても勝てることはありません。これから30~40年、日本は世界一の高齢者社会になろうとしているのに、ショッピングセンターは高齢者に居心地の良い場所とは決して言えません。

商店街を高齢者が毎日でも来たくなる居心地の良い場所にしたいと思っています。来街して歩くだけでも元気になれる、新しく友人ができる場所が、今の日本では一番必要です。買い物は目的ではないですが、人が来れば買い物もついてきます。

元気になれる商店街へ

片塩商店街は「おかげ」精神が基本にあります。来街者が増えてくるとともに、各店舗一店一店が自分の店の思いを来街者にわかってもらえるようなディスプレイにして、心が通うようにしていきたいです。

また、店主はなるべく来街者と顔馴染みになり、色んな人間関係を作り上げ、常にまちを清潔にして、四季の変化を感じるような雰囲気を作ることで、何の用事もないが行きたくくなるような場所にしたいです。商店街ウォーキングコースを作っており、1日4000mを目標に歩くことを勧めています。必ず元気になれるます。

商店街概要

近鉄高田市駅周辺に位置し、古くより近隣住民の日常生活品を提供するとともに地域のコミュニティを形成してきた4つの商店街「片塩駅前商店街振興組合」「片塩本通り商店会(かたしお遊とおり)」「サンサン中通り」「片塩コスモス通り」が、2002年3月に、片塩振興協議会を設立した。

当協議会は、片塩カルチャーセンターの設置や、片塩楽市・おかげ祭り・片塩寄席・毎週水曜楽の市といったイベント事業など、にぎわい創出に向けた様々な取組を地域団体と連携し実施してきた。